

メディケアフーズ展2023出展レポート

本会では、令和4年度のユニバーサルデザインフード普及活動事業の一環として2月に東京ビッグサイトで開催された「メディケアフーズ展 (Care Show Japan 2023)」へ出展しました(会期: 2月8日(水)~10日(金), 場所: 東京ビッグサイト)。

本催事は、主に業務用介護食品に特化した展示会として年々出展企業数は増加し、病院や介護施設に従事する管理栄養士等の専門職種からも注目度を高めてきた経緯があります。

一方、コロナ禍に見舞われて以降、このような集合型の催事開催はいずれも同様の条件下ではありましたが、同催事は2021年には緊急事態宣言、22年にはまん延防止等重点措置の施行期間と重なりました。催事の性質上、真っ先に外出を控えなければならない医療・介護従事職種が来場対象者ということもあり、本会会員を含む多くの企業では(来場者が見込めないため)出展取りやめが相次ぎました(同催事自体は通常通り開催)。ちなみに、本会は会員企業からの要望もあり、様子を観察する目的でこの2年間も出展を継続していますが、いずれの年も「開店休業」であったことは言わずもがなです。

そこで今回を迎えることとなりました。本会小間では、主な展開として昨年度作成した「災害時UDF活用サポートブック」の配布と、常温UDFのサンプリングを実施しました。以前は冷凍UDFの試食提供を積極的に行っていたものの、試食数の読みも難しかったこともあり再開は見送りました。なお、本会会員企業からは、東洋水産(株)、日本ケアミール(株)、(株)フードケア、(株)ふくなお*, (株)マルハチ村松*, (株)林原*, 三島食品(株)*, ヤマダイ食品(株)、(株)ヤヨイサンフーズ、(株)吉野家が出展しました(*は「金谷ラボ」での共同出展)。

また、出展に加え、初日にセミナーを主催しましたが、伊藤清世先生(ないとうクリニック複合サービスセンター 管理栄養士)にご登壇いただき、「災害時UDF活用サポートブック」の内容に関連して「災害の教訓として伝えたい介護食の必要性」についてご講演いただきました。

コロナを気にしながらとはいえ、前回2回とはだいぶ空気感も変わってきたこともあり、来場者が戻ってきているという実感は持てました。開催日数の違いから単純に比較はできませんが、主催者発表の数字からみると、コロナ直前に比較して6~8割程と見込まれました(3日間合計11,452名(前回

7,594名)、2020年1月開催時は2日間で14,000名程)。特に初日は、著名な講師によるセミナープログラムも手伝ってか、施設や病院、在宅介護等関連職種の来場が集中したような印象がありました。伊藤先生のセミナーも満席となり何よりでした。

5月以降、コロナ政策の転換が報道されています。本催事に限らず多くの展示会等で来場者は徐々に戻りつつある様子ですが、コロナ以前の活気に戻るにはどのくらいの時間がかかるのでしょうか。



出展の様子

【会議、催事等の予定】

4月19日(水) 第6回容器包装研究会(ハイブリッド開催)

4月28日(金) 第2回理事会(ハイブリッド開催)

【UDF商品登録状況(2,270品目・2月末現在)】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	11	8	7	88	4	118
冷凍食品	333	265	818	23	0	0	1,439
常温食品	255	74	219	163	2	0	713
合計	588	350	1,045	193	90	4	2,270

【会員の異動(2月)】

計92社(2月末現在)。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局: 東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>